

【第42回(2021年度)助成研究テーマ一覧】

分野	番号	区分 <sup>注1)</sup>	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関)	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 <sup>注2)</sup> 期間
大気	1	一般	吉田 恵一郎	大阪工業大学 工学部 電気電子システム工学科	元素状炭素微粒子の静電容量型付着を利用した除去技術開発	1,000	継続 3-3
	2	一般	定永 靖宗	大阪府立大学 大学院工学研究科 応用化学分野	越境輸送由来無機・有機硝酸態窒素のガス状・粒子状別動態解明	1,500	継続 3-2
	3	一般	弓本 桂也	九州大学 応用力学研究所	機械学習を用いた大気汚染予測システムの予測精度向上	1,200	継続 2-2
	4	一般	伊藤 一秀	九州大学 大学院総合理工学研究院・環境理工学部	微粒子の経気道・経皮暴露リスクを定量評価するin Silico Human開発	1,500	継続 2-2
	5	一般	長田 和雄	名古屋大学 大学院環境学研究科地球環境科学専攻	硝酸アンモニウム含有粒子による新型越境汚染メカニズムの解明	1,500	継続 2-2
	6	一般	鳥羽 陽	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科(薬学系)	活性酸素産生・付加体生成能同時計測による大気粒子の毒性評価	1,500	継続 2-2
	7	若手	玄 大雄	金沢大学 理工研究学域 フロンティア工学系	単一粒子分光分析による大気中の不均一光化学反応過程の動態解明	1,000	継続 2-2
	8	一般	畑 光彦	金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系	ナノ粒子と人間行動の関係に基づく動的環境リスク評価法の検討	1,500	初 3-1
	9	若手	植田 郁生	山梨大学 大学院総合研究部 工学域物質科学系	重水素化合物添加によるガス状有機成分の吸着影響評価	1,000	2-1
	10	若手	亀崎 和輝	(国研)産業技術総合研究所 環境創成研究部門	同位体比を用いたPM2.5中硝酸イオンの起源と形成過程の解明	1,000	初 2-1
	11	一般	木口 倫	秋田県立大学 生物資源科学部 生物環境科学科	ドローンを用いた大気中水銀の動的観測法の確立と評価	1,500	継続 2-2
土壌・水質	12	一般	今中 信人	大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻	鉄鋼排水中の有害有機物質を高効率で浄化可能な新規環境触媒	1,000	継続 3-3
	13	一般	中島 常憲	鹿児島大学 学術研究院理工学域工学系工学専攻 化学生命プログラム	鉄鋼排水中の金属錯体の存在と生態毒性への寄与評価	1,500	継続 3-2
	14	一般	中山 忠親	長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻	電気凝集汚水処理の超低消費電力化と微生物分解前処理の同時解決	1,500	継続 3-2
	15	若手	野本 直樹	宇部工業高等専門学校 物質工学科	ゼロエミ・創エネ型の製鉄含油・安水排水一括処理システムの開発	1,000	初 1-1
	16	一般	角皆 潤	名古屋大学 大学院環境学研究科地球環境科学専攻	閉鎖性海域における水柱酸素消費速度鉛直分布実測	1,500	1-1
	17	一般	村岡 貴博	東京農工大学 大学院グローバルイノベーション研究院	新規微生物ラベル化法による環境浄化に有効な微生物の単離技術	1,500	継続 3-2
	18	一般	本多 了	金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系	微生物カプセルMBR法によるPFAS汚染水処理プロセスの開発	1,500	3-1
副産物	19	一般	胡桃澤 清文	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門	高炉スラグ固化体作製のための高炉スラグの反応促進技術の開発	1,000	継続 3-3
	20	一般	一家 崇志	静岡大学 学術院農学領域 応用生命科学科	茶園への鉄鋼スラグ散布による土壌改良と茶品質向上効果の検証	1,000	継続 3-3
	21	一般	綾野 克紀	岡山大学 学術研究院環境生命科学学域	高炉スラグ細骨材がコンクリートの品質を改善するメカニズム解明	1,500	継続 3-2
	22	一般	杉山 茂	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部理工学域 応用化学系	脱リンスラグからのリンの選択的回収技術の開発	1,500	継続 2-2

【第42回(2021年度)助成研究テーマ一覧】

分野	番号	区分 <sup>注1)</sup>	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関)	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 <sup>注2)</sup> 期間
副産物	23	一般	山末 英嗣	立命館大学 理工学部機械工学科	高エクセルギー廃棄物を用いた鉄鋼 スラグからの黄リン製造	1,500	継続 2-2
	24	一般	鈴木 賢紀	大阪大学 大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻	水熱環境での還元反応による製鋼スラグ からの鉄とリンの分離回収	1,450	継続 2-2
	25	若手	山口 千仁	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 畑作園芸研究領域	植物への含硫化合物蓄積誘導剤としての 鉄鋼スラグの有用性の検討	1,000	継続 2-2
	26	若手	片山 裕美	八戸工業大学 工学部生命環境科学科	鉄鋼スラグを利用した新規還元反応の メカニズムの解明	1,000	継続 2-2
	27	一般	伊藤 洋介	名古屋工業大学 社会学教育類 建築デザイン分野	発泡ビーズと電気炉酸化スラグを用いた 広帯域電波吸収体の開発	1,500	2-1
	28	若手	福永 隆之	九州大学 大学院社会基盤部門(工学部土木工学科)	初期強度を向上させた高炉スラグ含有型 環境低負荷材料の開発	1,000	初 2-1
	29	若手	戸田 賀奈子	東京大学 大学院工学系研究科原子力専攻	天然有機物による製鋼スラグ改質土の 固化阻害反応の解明	1,000	初 2-1
	30	若手	禹 華芳	東北大学 大学院工学研究科	イオン交換膜電析法による製鋼スラグ 抽出液からの珪酸と磷酸分離	1,000	初 1-1
地球環境	31	一般	埜上 洋	東北大学 多元物質科学研究所	連続生成液膜による物質移動の高速化 と能動制御	1,500	継続 2-2
	32	一般	村上 太一	東北大学 大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻	ゼロカーボンを実現する炭素循環製鉄 原理の創成	1,500	2-1
	33	一般	三重 安弘	(国研)産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門	鉄鉱石還元剤を電気化学的に還元再生 する単一系金属触媒の開発	1,500	1-1
	34	一般	加藤 之貴	東京工業大学 科学技術創成研究院先端原子力研究所	大規模化可能な低コスト平板型水素 分離膜によるCO2回収効率化	1,500	継続 3-2
	35	若手	廣田 雄一郎	名古屋工業大学 大学院工学専攻 生命・応用化学系プログラム	透過機構の解明と制御による CH3OH/H2/CO2分離膜の高性能化	1,000	継続 2-2
	36	若手	市川 俊輔	三重大学 大学院教育学研究科 理科教育講座	バイオリファイナリー基盤技術における バイオマス糖化機構の解明	1,000	継続 2-2
	37	一般	得平 茂樹	東京都立大学 大学院理学研究科生命科学専攻	鉄含有酵素を利用した光合成による大気 からの有用物質生産	1,500	初 3-1
	38	若手	宇敷 育男	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 化学工学 プログラム	イオン液体含浸MOFの新規創製:超臨界 流体法によるアプローチ	1,000	初 2-1
	39	若手	脇坂 聖憲	東北大学 大学院理学研究科化学専攻	二酸化炭素を固定する多元素モリブデン クラスター触媒開発	1,000	1-1
	40	一般	劉 醇一	千葉大学 大学院工学研究院 都市環境システムコース	ボトムアップアプローチによる化学蓄熱材 の高性能化	1,500	初 2-1
	41	若手	秦 慎一	山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部応用化学科	高効率な環境発電シートのためのp型,n 型テラレーメイド半導体材料	1,000	2-1
	42	若手	高根 雄也	(国研)産業技術総合研究所 環境創生研究部門	COVID-19外出自粛によるヒートアイラン ド緩和と省エネ	998	継続 2-2
エコプロ セス	43	一般	大塚 重人	東京大学 大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻	鉄資材を用いた畑土壌における可給態 リンの増大と土壌保全	1,500	初 2-1

注1) 若手研究資格: 2021年4月1日時点において、次のいずれかに該当する者が主体的に研究を行う研究代表者(申請者)であること

① 満年齢39歳(2年計画で申請する場合は38歳)以下の者

② 博士号取得後8年未満(2年計画で申請する場合は7年未満)の者

注2) 研究期間: a-b; 研究期間a年中b年目、継続: 継続案件、初: 初めての助成研究者